

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第2回朝霞第五小学校学校運営協議会	
開 催 日 時	令和5年7月13日(木) 午後2時00分から午後3時00分まで	
開 催 場 所	朝霞市朝霞第五小学校 体育館3階 会議室	
出 席 者	飯倉昇明 白鳥成章 蔵田ひと美 菅原慎也 高野友則 田辺敏晃 槇本太樹 正野寛樹 三好正浩 南雲秀隆 (司会：手島牧子 記録：猪狩一史)	
会 議 内 容	(1) 令和5年度生徒指導について (2) 地域ぐるみのあいさつ運動について	
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞第五小学校「生徒指導の取組」について ・「地域ぐるみのあいさつ運動」について ・生徒指導リーフ「いじめの理解」 	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後○か月
会議録の確認方法 司会・記録による確認		
そ の 他 の 必 要 事 項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会の言葉 開始 午後2時00分

- ・あいさつ、資料確認（教頭）

2 会長あいさつ

- ・暑さに気をつけて、お過ごしください。
- ・ヤングケアラーの子どもたちが多くなっている実態がある。日本では、家族の世話は家族で、というような風潮がある。『ヤングケアラー』という言葉が先行し過ぎて、レッテルのようになってしまわないようにしないといけない。

3 校長あいさつ

- ・今学期もあと4日。暑い中でも、児童は元気に登校してきている。
- ・今後も、ご支援よろしくお願ひします。

4 熟議

(1) 令和5年度生徒指導について（生徒指導主任）

①生徒指導全体目標

②各月の生活目標

③令和5年度の児童の実態

「あいさつ」

- ・自分から挨拶できる児童が少ない。
- ・PTAや生活委員会のあいさつ運動をきっかけに、あいさつができる児童を増やしていく。
- ・アンケートでは「できる」と回答している児童が多いが、教員は「できていない」という認識が多い。

「廊下歩行」

- ・休み時間に正しい廊下歩行ができない。特に雨天時。
- ・教職員が見逃さずに指導する。それぞれの児童の意識を高める声掛けをしていく。

「無言清掃」

- ・令和4年度から呼びかけているが、まだ、徹底できていない。
- ・環境委員会による呼びかけを継続する。

「いじめ」

- ・保護者からの連絡で発覚することが多い。
- ・相談しやすい環境づくりをする。
- ・教職員の指導力の向上を図る。
- ・「小さなこと」「子供のケンカ」で済まらず、積極的に認知していくよう、教職員に啓発している。

【質疑・応答】

菅原 ・清掃時間は？

⇒清掃時間は、13時10分から13時25分。

- ・いじめの件数に上がっていないものも見逃さないようにしてほしい。
- ・あいさつは、けっこうしている印象がある。

⇒知っている大人には、あいさつができる。

高野 ・いじめの認知件数とは。

⇒それぞれの月に起きたものを、計上している。

校長 ・ いじめの解消とは、指導後3カ月は継続して様子を見て、解消となる。

蔵田 ・ 相談後の指導をためらう、とは。
⇒子ども同士の関係もあるが、親同士の関係が悪くなるので言わないでほしい、というケースもある。

白鳥 ・ 大人の世界にもあるが、報告連絡相談が告げ口になってしまう。
校長 ・ そういうケースは、教師が直に見付けて、指導できるようにしている。なかなか難しい。

橋本 ・ 子どもは大人と違って、いじめについて、事の重大さが分かっていない。
白鳥 ・ いじめ報告は、五小教員は共有しているのか。
⇒生徒指導部会で共有している。

正野 ・ いじめ調査の解決日とは何をもって解決とするのか。
⇒子ども同士の話し合い、保護者に連絡して。
・ 解決に向けては、担任が行うのか。
⇒基本的には、担任や学年主任。場合によっては生徒指導主任、管理職が入る。
・ 解決に至る過程事例の蓄積があるといい。全職員に共有したほうがいい。次に何かあったときの、ヒントになる。

高野 ・ いじめは加害者が、個なのかグループなのかで違う。いじめられやすい子が決まっているようなことはあるのか。
⇒集団で一人を、という事案は、ほぼない。

(2) 地域ぐるみのあいさつ運動について (教頭) [会議資料参照]

・ 次回の運営協議会に、アイデアを持ち寄っていただけるとありがたい。

【質疑・応答】

高野 ・ 医療者としては、階段であいさつはやめた方がいいと思う。高齢者には危険な面もある。

蔵田 ・ 紙芝居などを活用すると、子どもたちにはいいのでは。
菅原 ・ 校長が、先頭に立って継続してやっていることは素晴らしい。

教頭 ・ 子どもたちの自己評価 (よくできている) と実態にズレがある。

橋本 ・ あいさつはすれ違った時に絶対するルールなのか。ここはしましようとかそういうところをはっきりさせると改善するのでは。

蔵田 ・ 家庭でのあいさつが足りていないのでは。
橋本 ・ 子どもたちも、あいさつをした方がいいという認識がないのでは。

正野 ・ 校長からあいさつしても、返ってこないことがあるのか。
⇒そういう児童もいる。繰り返し声を掛けて引き出していく必要がある。(校長)

飯倉 ・ 学校生活の中で、このあいさつをこういう場面では言おう、というワード

を決めていくといいのでは。

白鳥 ・あいさつは、「しっかりと相手の目を見て、相手に伝える」ということも子どもたちに伝える必要もある。

5 その他

(教頭)

①次回開催

・10月20日(金) 11:00～ (給食試食会あり)

②運動会のお知らせ 10月7日(土)

6 閉会の言葉

(教頭)

終了 午後3時00分